

残り者には福がある



シリーズ～終末を生きる～

2018/2/18

残された人々

☞ノアの洪水

☞「地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っている」のをご覧になり、「これを地上からぬぐい去ろう」と思われたが、「ノアは主の好意を得た」ので、彼と彼の家族を**残された**

☞ヨシュアとカレブ

☞モーセに率いられてエジプトを出てきたイスラエルの民であったが、カナンの地を目前に主に背いたため、ヨシュアとカレブだけが(モーセも×)**残されて**約束の地に入ることができた

バビロン捕囚からの帰還民

イザヤ

「その日には、イスラエルの残りの者とヤコブの家の逃れた者とは、再び自分たちを撃った敵に頼ることなく、イスラエルの聖なる方、主に真実をもって頼る。**残りの者が**帰って来る。ヤコブの**残りの者が**、力ある神に。」10:20-21

ミカ

「あなたのような神がほかにあろうか／咎を除き、罪を赦される神が。神は御自分の**嗣業の民の残りの者に**／いつまでも怒りを保たれることはない／神は慈しみを喜ばれるゆえに。」7:18

旧約聖書の「残りの者」思想

☞ 正義にもとづく主の裁き

☞ 悪がはびこることは人のため、被造物全体のために良くない

☞ イスラエルとは律法による契約を交わし、違反した場合は「裁く」ことで合意した

☞ 憐れみにもとづく「残りの者」

☞ 「エフライムはわたしのかけがえのない息子／喜びを与えてくれる子ではないか。彼を退けるたびに／わたしは更に、彼を深く心に留める。彼のゆえに、胸は高鳴り／わたしは彼を憐れまずにはいられないと／主は言われる。」エレミヤ31:20

新約聖書時代の「残りの者」

☞ ファリサイ派は自分たちを「残りの者」だと自負していた！

☞ 律法を厳格に守っていると思っていたから

☞ パウロは教会こそ「残りの者」だと言った

☞ 「神はわたしたちを**憐れみの器**として、ユダヤ人からだけでなく、異邦人の中からも召し出してくださいました。…また、**イザヤ**はイスラエルについて、叫んでいます。『たとえイスラエルの子らの数が海辺の砂のようであっても、**残りの者**が救われる。』」ローマ9:24-27 > **預言の成就!**

終末におとずれる「患難時代」

☞ イエス様の予言

☞ 「そのときには、世界の初めから今までなく、今後もし決してないほどの大きな苦難が来るからである。神がその期間を縮めてくださらなければ、だれ一人救われない。しかし、神は選ばれた人たち(残りの者)のために、その期間を縮めてくださるであろう。」マタイ24:21-22

☞ 黙示録

☞ 「わたしはまた、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た。七人の天使が最後の七つの災いを携えていた。これらの災いで、神の怒りがその極みに達するのである。」15:1

「残りの者」の主、キリスト

☞ 最後の患難は人間の高ぶりを裁く

☞ 「万軍の主の日が臨む／すべて誇る者と傲慢な者に／すべて高ぶる者に——彼らは低くされる——」イザヤ書2:12

☞ 「残りの者」の栄光となるイエス・キリスト

☞ 「その日には、イスラエルの生き残った者にとって**主の若枝**(メシア)は麗しさとなり、栄光となる。」イザヤ書4:2

☞ 王として再臨されるキリストであるが、
“**憐みの主**”であることに変わりはない!

残り者には福(憐み)がある

主の憐み

残り
の
者

バビロン
捕囚

教会

終
末

